

P2食の安心・安全技術開発プロジェクト

残留農薬簡易検査キットの開発 ～イムノクロマト法～

国立大学法人豊橋技術科学大学、公益財団法人科学技術交流財団、公益財団法人京都高度技術研究所、株式会社堀場製作所

背景

- 農産物出荷、加工時に行う残留農薬検査は大型機器による分析または委託分析が主流
- 分析のための費用は高く、生産者・関連企業の負担大
- 簡便で安価な検査方法に対する要望大(図1)

製品の狙い

- 簡単操作、廉価、モバイル式で、どなたでも、どこでも使用可能なイムノクロマト法を用いた測定キット(図2)
- 生産現場、流通企業、食品加工業、一般消費者における残留農薬自主検査に利用可能

技術的特長

- 大型機器分析に比べ初期費用、ランニングコストが安価
- 測定に特殊器具不要
- 15分程度で測定可能(抽出作業時間を除く)
- 目視による判定可能、必要に応じ光学機器による定量可能(図3)

今後の予定

- 平成27年度、製品試作キット作製
- 対象農薬拡充継続

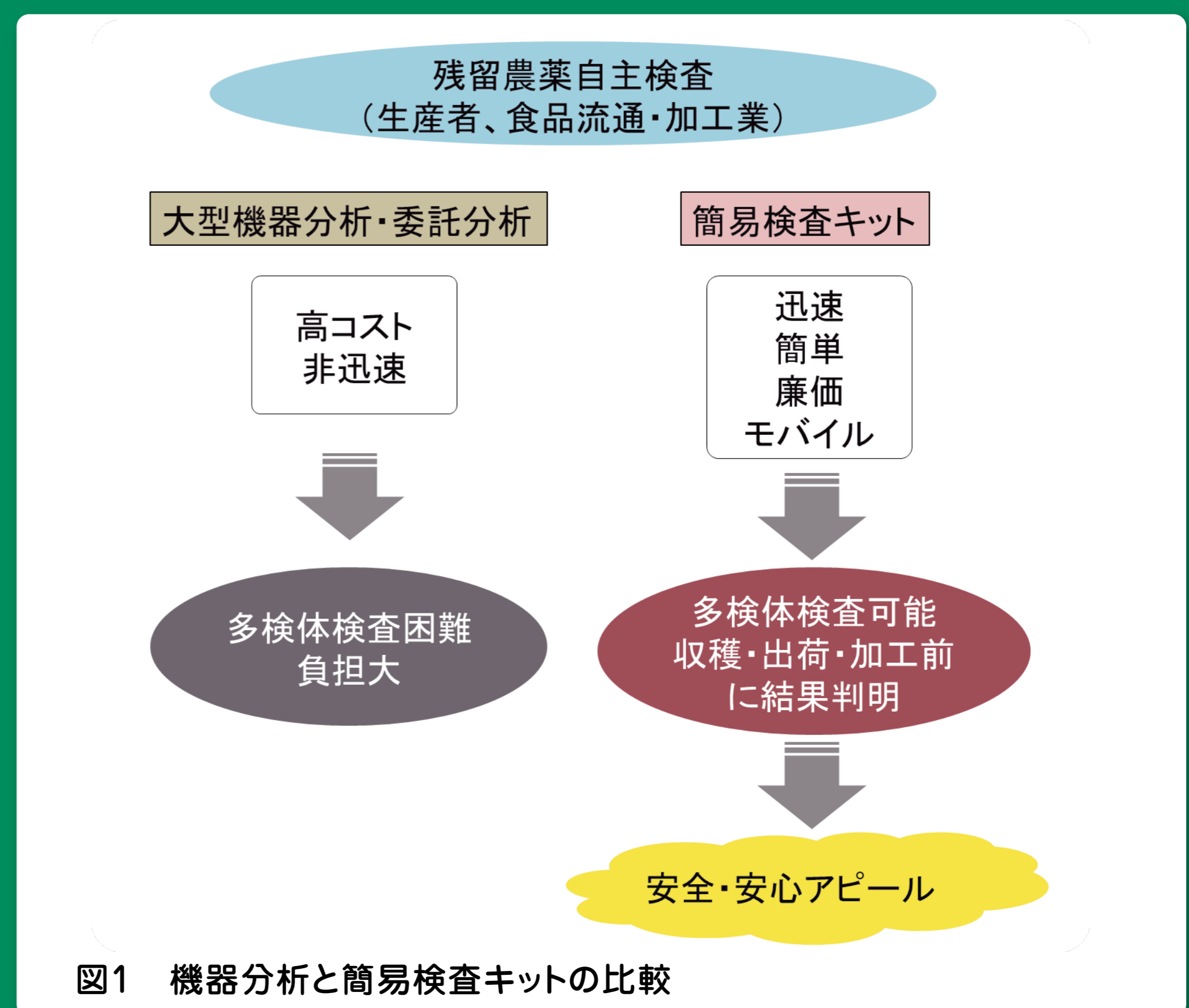


図1 機器分析と簡易検査キットの比較

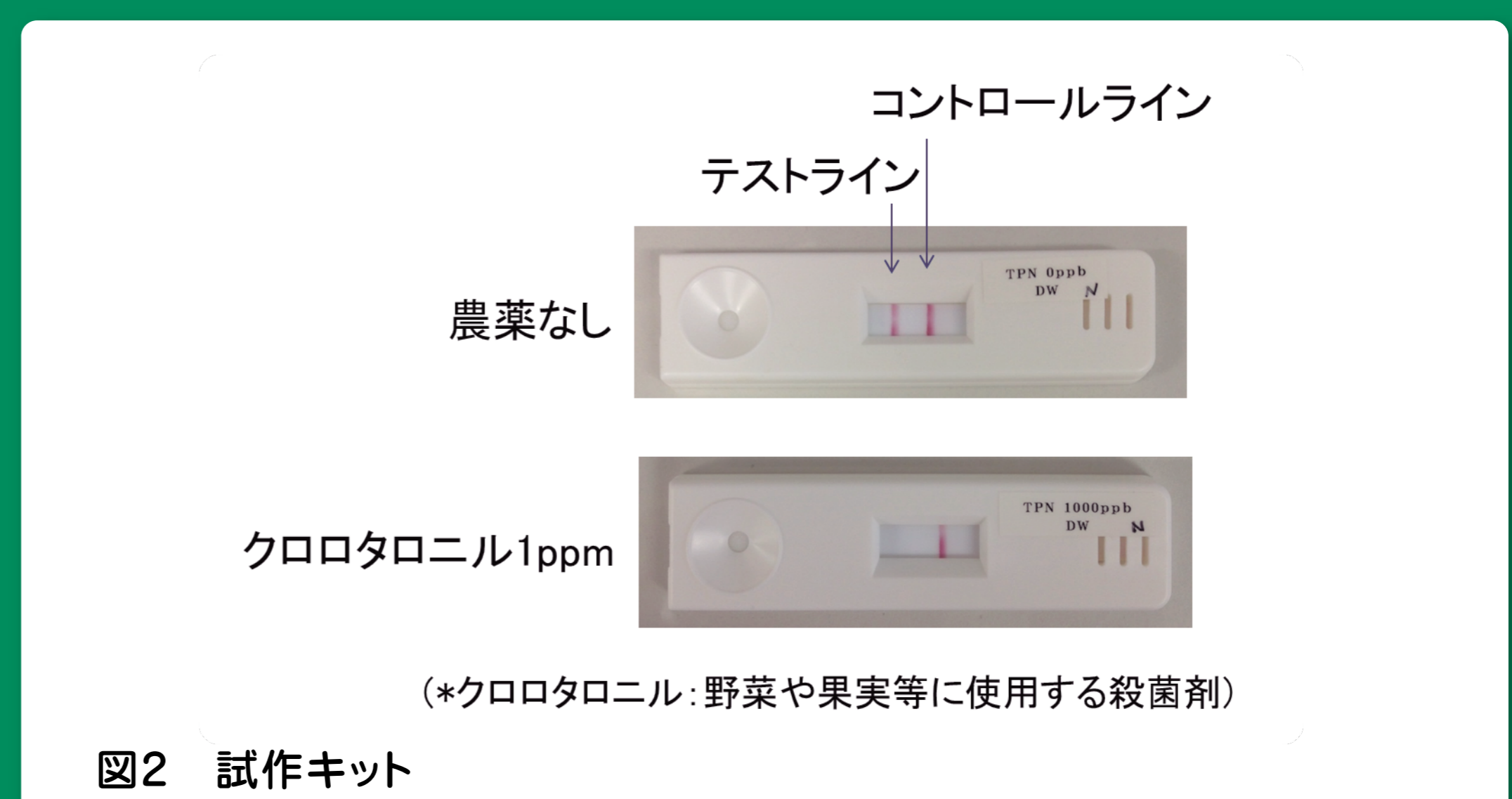


図2 試作キット

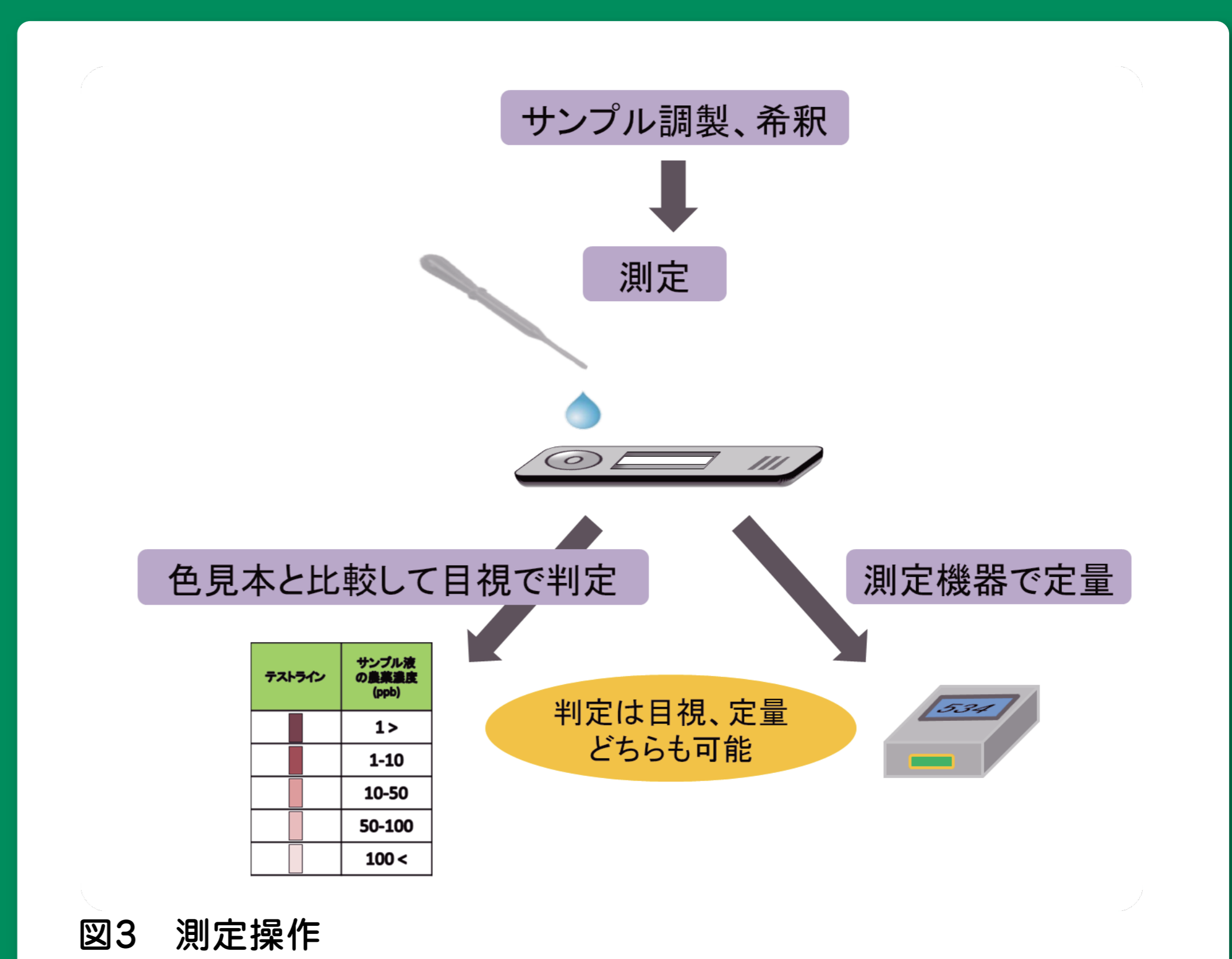


図3 測定操作

平成26年5月
説明員: 足立 香代